

特別養護老人ホームにおける机上訓練を通じた 給食BCPと訓練実施上の課題の検討

○高橋春花¹⁾， 須藤紀子²⁾， 武田環¹⁾， 島田郁子³⁾

- 1) お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- 2) お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
- 3) 高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科

日本栄養改善学会 COI開示

○高橋春花¹⁾， 須藤紀子²⁾， 武田環¹⁾， 島田郁子³⁾

- 1) お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- 2) お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
- 3) 高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等は次の通りです。

助成金：公益財団法人ダイオーズ記念財団

背景



新型コロナウイルス感染症の流行



大規模災害の発生

令和3年度介護報酬改定

すべての介護サービス事業者を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等を義務づける¹⁾

令和6年4月より義務化

1) 厚生労働省. 令和3年度介護報酬改定の主な事項について. <https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000753776.pdf>. (2024-8-16)

背景

机上訓練



実動訓練



目的

災害対応力の向上や
災害イメージの習得

決められたとおりに
実行できるかの確認

方法

緊急時の施設における課題や
対応についてシミュレーション

実際に身体を動かす
機器を操作する

特徴

費用・時間が抑えられる

費用・時間がかかる

目的

机上訓練

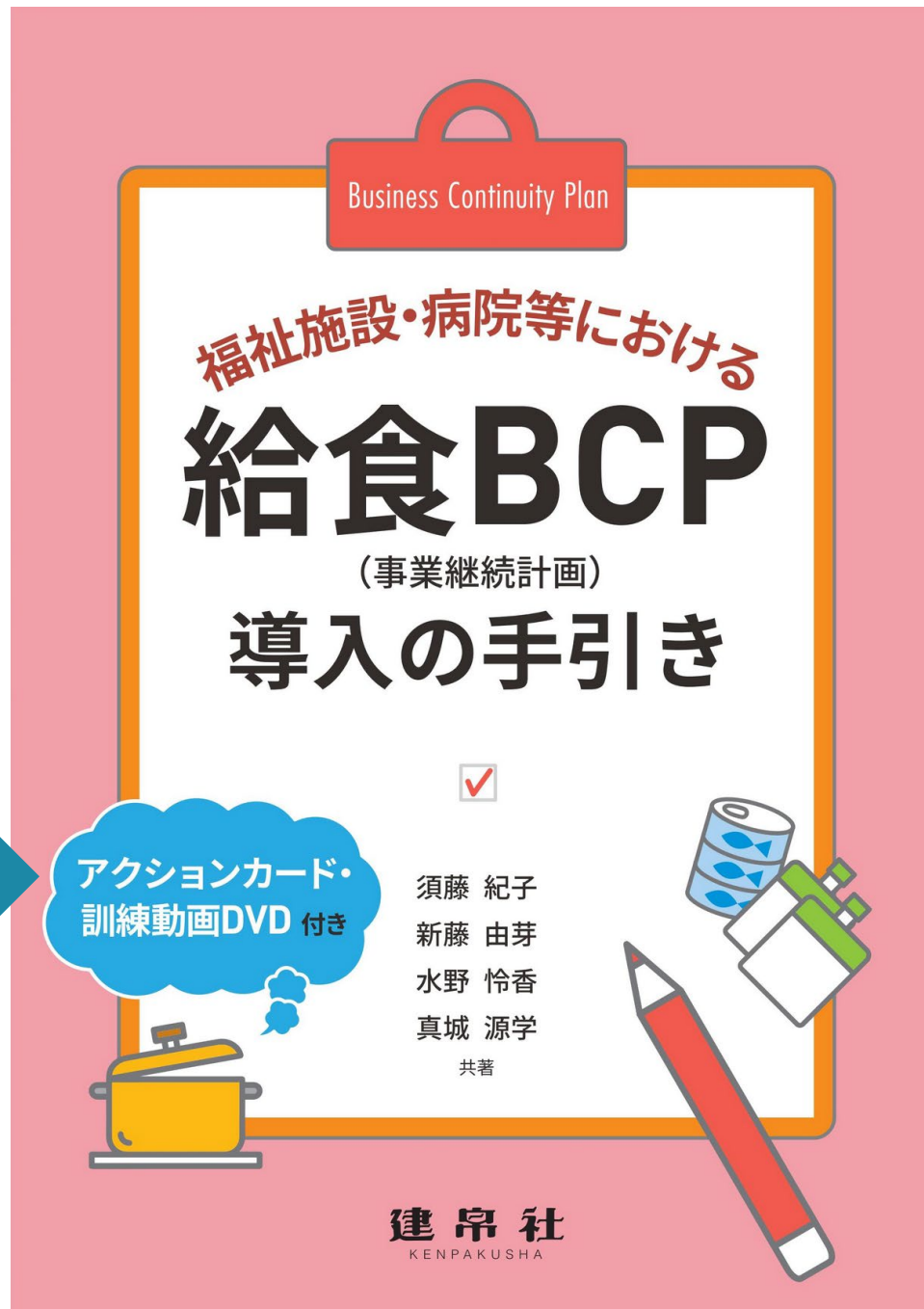
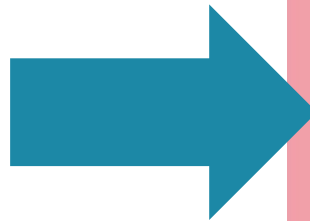


実動訓練



特別養護老人ホームにおいて
給食用アクションカードを使用した机上訓練を行い、
施設の給食BCPと訓練実施上の課題を検討する

方法



方法

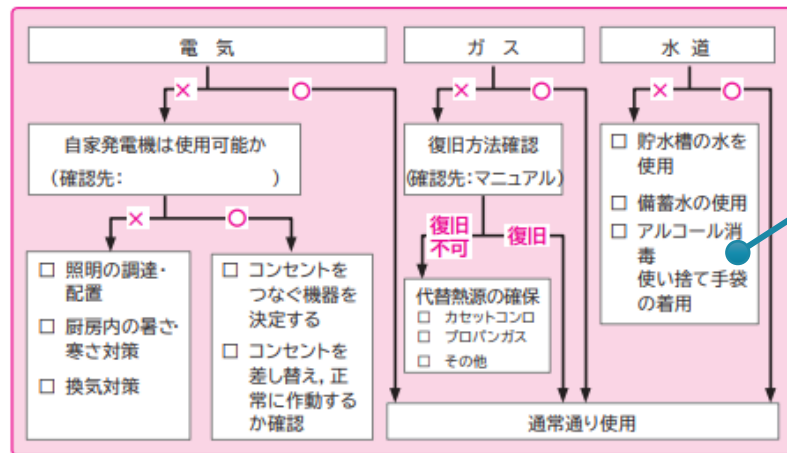
給食に特化した内容

非常時にもわかりやすい
フローチャート形式

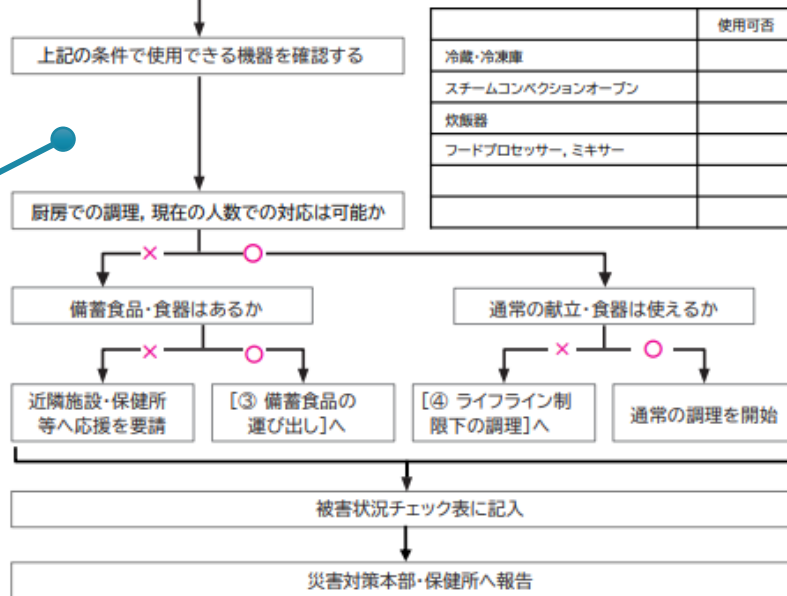
②ライフラインの確認

日時 ____年__月__日__:
記入者 _____

給食に関わるライフラインの確認(担当: _____)
電気・ガス・水道の状況を確認し、給食の提供が可能か判断します。



文字の記入箇所は最小限
○や×, □による記入



方法

高知県の特別養護老人ホームにて実施

2023年7月13日



打ち合わせ

約1時間10分

2023年10月18日



事前アンケートと
机上訓練

約3時間

2024年3月21日



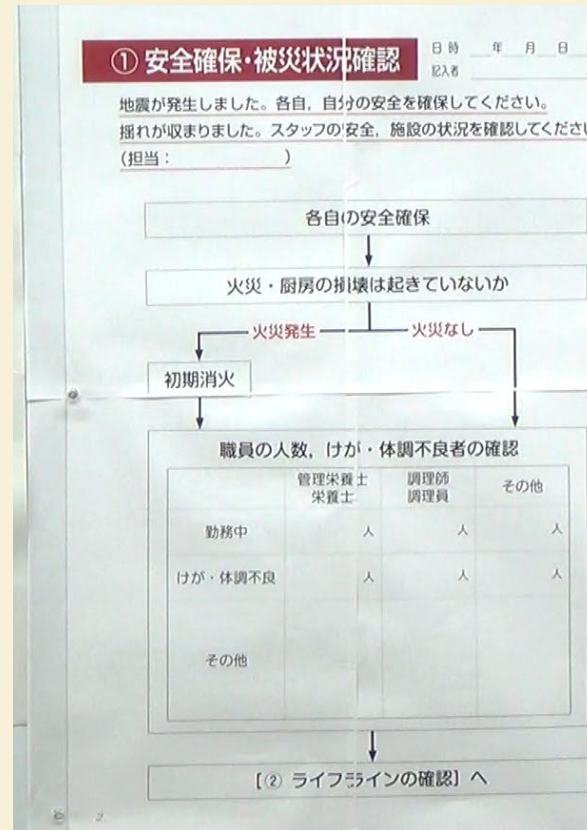
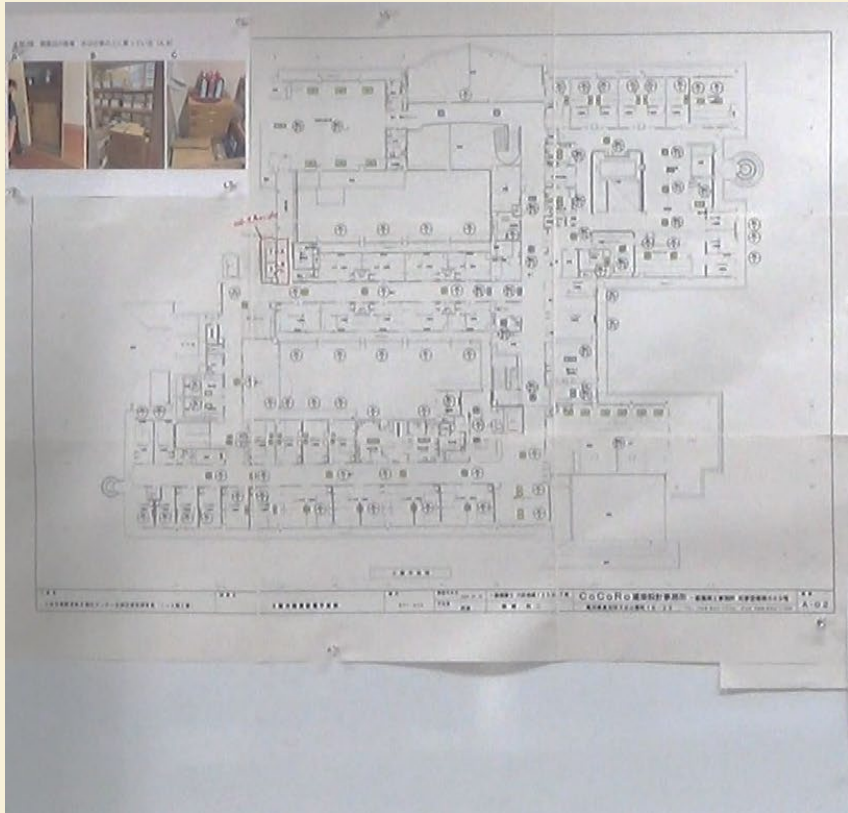
振り返りと
事後アンケート

約2時間

施設図面

アクションカード

備蓄品・人員 マグネット



方法



方法

調理員A

アクションカードへの書き込み

① 安全確保・被災状況確認

日時 2023年10月18日 13:30
記入者 A

地震が発生しました。各自、自分の安全を確保してください。
揺れが収まりました。スタッフの安全、施設の状況を確認してください。
(担当:)

各自の安全確保

火災・厨房の損壊は起きていないか

火災発生 / 火災なし

初期消火

職員の人数、けが・体調不良者の確認

	管理栄養士 栄養士	調理師 調理員	その他
勤務中	3人	5人	1人
けが・体調不良	人		
その他			

【② ライフラインの確認】へ

学生B

訓練の補助

方法

施設長、施設理事、介護士、栄養士B、調理員B
具体的な対応方法などについて適宜発言



状況設定者

事前に設定した被害状況を伝達

使用したアクションカード	状況設定
① 安全確保・被災状況確認	<p>13時30分に震度6弱の地震が発生</p> <p>厨房に火災・損壊はなし</p> <p>栄養士3名は無事だが、調理員5名のうち1名がけが</p>
② ライフラインの確認	<p>停電したが、自家発電機は使用可</p> <p>ガス（給湯機のみ）は使用可</p> <p>上水道は断水しているが、貯水槽内の水は使用可</p>
被災状況チェック表	<p>固定電話・FAX・インターネット：不通</p> <p>福祉避難所の運営を担当する市職員が来られない</p> <p>受け入れ予定のない近隣住民が避難してくる</p>
③ 備蓄食品の運び出し	エレベーター：停止
④ ライフライン制限下の調理	—
⑤ 盛り付け・運搬	—
⑥ 喫食	—
⑦ ごみ処理	ごみ収集は数日間行われない

結果



非常時の対応

- 厨房内の危険の認識と対策
- 福祉避難所の開設・運営と要配慮者・近隣住民の受け入れ
- 備蓄品の保管場所の周知と利用者への適合性
- 他部署・外部からの受援計画
- ごみ処理の方法



BCP

- 実情に合った明瞭な情報の記載
- 調理・盛り付け手順を含む災害時献立の作成

結果

① 厨房内の危険の認識と対策



Q. 何か倒れてきたり落ちてきたり、大きく動くものはないですか？固定されていますか？



発災時点で沸かしているお湯だけかな？
他のものは大体固定しているから大丈夫だと思う

→ 実際にはラックや炊飯器台が固定されていない



厨房には身を隠す場所やヘルメットもない…

→ 他にも配膳車が動く可能性があり、危険は多そう

結果

② 実情に合った明瞭な情報の記載

備蓄品リスト

<input type="checkbox"/>	自家発電装置、稼働時間177時間分の燃料
--------------------------	----------------------

約7.4日分



自家発電の電力はエアコンなどフル稼働で2~3時間使える。
燃料を足せば使えるが、1週間分の備蓄はない

→ BCPに記載されている情報が実情に合っていない

食事の提供方法

1. ...
2. マスク、エプロン、手袋を着用し、カセットコンロや非常用IH、非常用電源を使用し調理する。

非常用電源にIH機器を繋ぐ

→ わかりにくい表記

結果

③ 調理・盛り付け手順を含む災害時献立の作成

災害時献立表

栄養・調理担当者が不在もしくは参集できない場合については、指示を待たずに献立表に沿って食事を提供する。

食事の提供方法

1. 倉庫から災害時用の献立に沿って必要な食材や機器を降ろしてくる。
2. ...

【普通食】 50食

	献立	数量
夕食	白飯	5K 1箱
	肉じゃが	100g 48P

5kgのアルファ化米の調理に必要な水の量は？

正しくは50パック

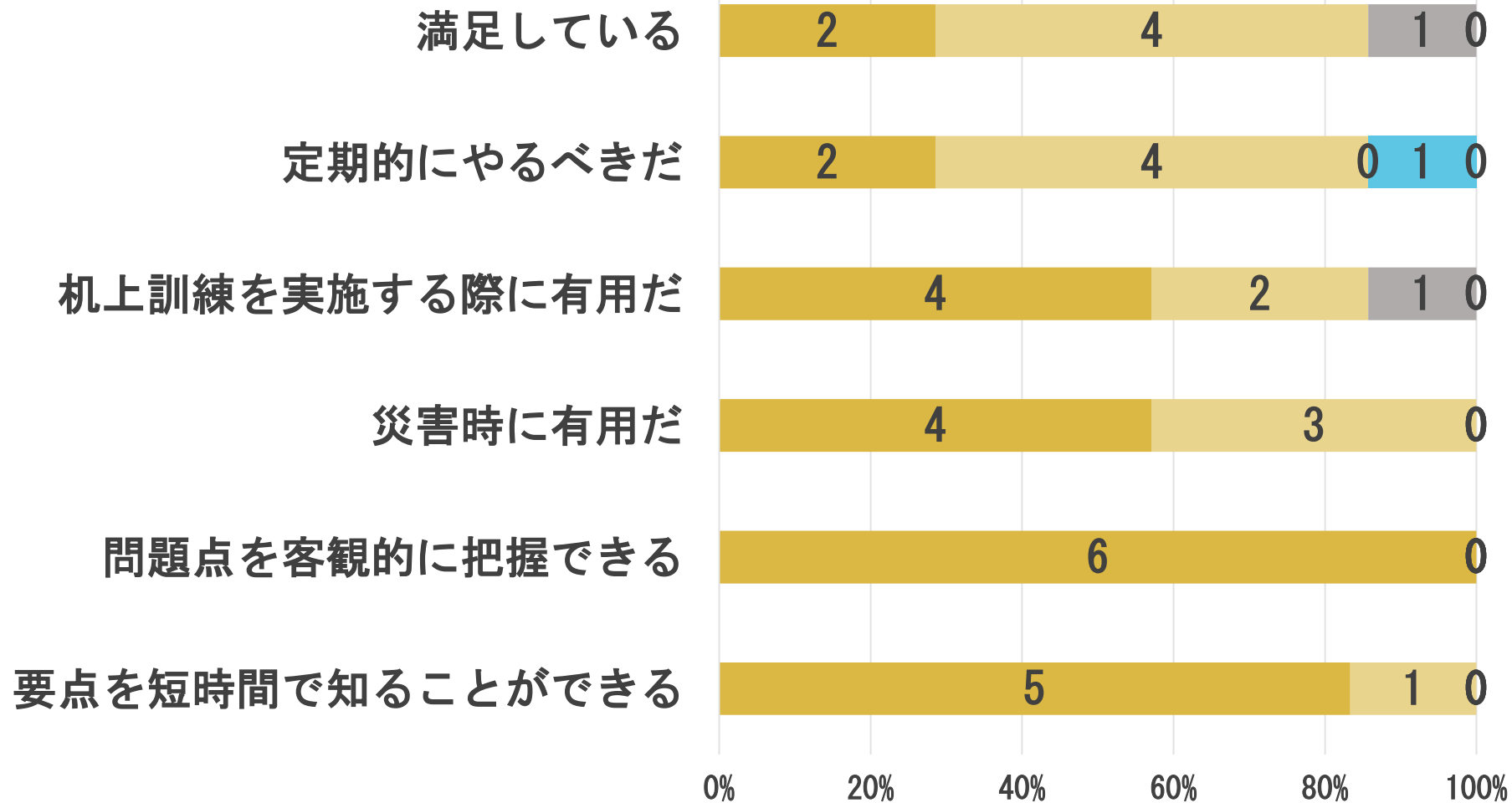
→ BCPには調理に必要な食品や機材に関する情報が不足、または記載されておらず、その場で考えなければならない

結果

今回実施した
机上訓練
について

給食用
アクションカード
について

動画を使用した
振り返り
について



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

結果

机上訓練について



文章でなくカードのため共有すべき情報が明確で、やるべきことの順番が分かりやすい

実際の動線、具体的な人数の想定ができて良かった

机上訓練を施設職員のみで行う場合の課題・求めるサポートについて

職員ごとの設備や備蓄の把握状況の違い

施設周辺の道路状況や、市職員、電波状況までの状況設定が難しい

施設職員だけでは気づかないことへの指摘や実際の災害時の事例を踏まえたアドバイス



結論

- ✓ 「給食用アクションカード」を使用した机上訓練を通して、非常時対応・BCPに関する施設の課題が明らかになった

シナリオ作成は一連の準備過程の中で最も重要な要素の1つ⁴⁾

- 専門的知識が必要
- 妥当性確保のためには最初から企画関係者間の協議を行うことが望ましく、多くの手間と時間がかかる

検証員は、防災に関する知識や経験を有する者が行うことが望ましい⁵⁾



- ✓ 特にシナリオ作成や検証において専門的知識を有する者が支援を行うことが望ましい

4) 胡 他. 市町村職員による災害対策本部の図上シミュレーション訓練のシナリオ作成手法に関する考察. 地域安全学会論文集 (2007) 20

5) 久保 他. 津波災害を対象とした市町村における図上訓練の実施方法に関する研究. 日本地震工学会論文集 (2020)